Nestlé Good food, Good life

共通価値の創造と私たちのコミットメント

『ネスレ アニュアルレビュー 2020年』抜粋

ネスレは、
食の持つ力で、現在そしてこれからの世代の
すべての人々の生活の質を高めていきます。

ネスレのコミットメント

ネスレの健康、社会、環境のコミットメントは、
社会をより良くする力となるための取り組みの指針です。

ビジネス上の利益、社会に対するプラスの影響は相互に補強し合うものでなければなりません。これが、ネスレの共通価値の創造という事業アプローチの核心です。すべてのステークホルダーのために価値を創造してはじめて、ネスレは長期的な成功を収めることができるのです。

個人と家族のために

1,210以上
乳幼児、子ども、妊産婦や出産したばかりの母親に特有な栄養ニーズや栄養不足に対応するため発売した新製品の数

1,960億サービング
微量栄養素強化食品飲料を栄養不足の危険性の高い国で提供した数

3,300万人
「ネスレ ヘルシーキッズ」に参加した子どもの数

27億6,000万食
2019年にネスレの食品飲料に追加された野菜

コミュニティのために

2億3,500万本
農業従事者に配布したコーヒーの苗木（2010年からの累積）、2020年までに2億2,000万本という目標に対して

8,600以上
*Nestlé needs YOUth*の取り組みを通じて、30歳未満の人に提供された雇用機会、訓練あるいは実習

73%
15の主要カテゴリーの原材料の総量のうち、責任ある調達の実施割合

35万4,900人
能力開発プログラムを通じて研修を受けた農業従事者

地球のために

36.7%
製造オペレーションにおいて、製品1トン当たりの温室効果ガス（GHG）排出量を2010年と比較して削減した割合

368
廃棄物ゼロを達成した工場

32%
製造オペレーションにおける製品1トンあたりの直接取水量を2010年と比較して削減した割合

50%
使用する電力に占める再生可能エネルギー源の割合

共通価値の創造

「ニド」*FortiGrow*シリーズ：
学齢期の子どもに栄養を

「ニド」*FortiGrow*は、
学齢期の子どもたちが必要とする栄養を兼ね備えており、
学習、免疫、成長をサポートします。

9,000万スイスフラン以上
50カ国以上での新型コロナウイルス感染症関連の寄付金および現物寄付の総額

3,300万人
「ネスレ ヘルシーキッズ」に参加した子どもの数

–37%
製品1トン当たりのスコープ1および2の温室効果ガス排出量を2010年と比較して削減した割合

62万**6,700**人
ネスレの「ファーマーコネクト」に参加した農業従事者の数

ネスレの存在意義は、「食の持つ力で、現在そしてこれからの世代のすべての人々の生活の質を高めていきます」です。ネスレはこの存在意義に動機付けられて、現在そしてこれからの人々やペットの生活、そして環境に対して、プラスの影響を与えるべく取り組んでいます。

共通価値の創造を重視する理由

共通価値の創造とは、社会に価値を創造し、環境を保護する方法で長期的な価値を創造することです。気候変動、感染症の世界的流行、経済の低迷が世界中の人々に影響を及ぼしている今、人々のニーズを満たし、社会の課題に対応し、経済的価値を創出する解決策を生み出すことがかつてなく重要になっています。

ネスレのコミットメントとその影響

ネスレはその存在意義を指針として、国連の持続可能な開発目標（SDGs）に合致し、それを支援する各分野にわたる長期的な目標とコミットメントの達成を目指しています。特に、大人も子どももさらに健康な生活を送れるように支援すること、ネスレが事業活動を行うコミュニティに暮らす人々の生活を改善すること、そして環境を保護し回復することに、取り組みの重点を置いています。

コミットメントの進捗状況は、事業活動が地域や世界的な課題に対処することで社会をより良くする力になり得るという私たちの強い信念を裏付けています。ネスレはサステナビリティ活動とその報告を、国際的な枠組みと気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）の提言に沿って実施しています。詳細についてはネスレのウェブサイト（www.nestle.com/climate）をご覧ください。（英語サイト）

人々の安全を守るパートナーシップ
新型コロナウイルス感染症の危機が始まった当初から、ネスレは、国際赤十字・赤新月社連盟（IFRC）に対する寄付金や食料、水、医療用栄養製品の寄付を通じた支援を継続するなど、人々とコミュニティの健康と安全を守る取り組みを進めてきました。

もっと詳しく知りたい方へ
ネスレの経営手法とガバナンス構造についての詳細、業績データ、事例研究やその他の情報については、ネスレの報告書『Creating Shared Value and Sustainability Report』と、ネスレのウェブサイトのOur impactのセクション（www.nestle.com/csv）をご覧ください。（英語サイト）

進捗状況

2020年に向けたコミットメントは順調に進捗しました。本報告書の発行時点で、36項目のコミットメントのうち28項目を100%達成しました。まだ進行中の項目や達成間近の項目については、100%達成を目指して取り組みを強化しています。
これらのコミットメントは、ネスレに深く根付いた、環境と社会のサステナビリティの取り組みにおける重要なステップでした。今後10年に向けて、さらに前進し、ペースを上げるため、新たに長期的な目標を設定します。地球の健全性を高め、社会課題解決の進展を促進し、健全な食料システムを支援するための取り組みをこれからも続けていきます。2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを達成するための意欲的なコミットメントを設定し、達成に向けた詳細なロードマップを策定しました。また、2025年までにネスレ製品のパッケージの100%をリサイクル可能あるいはリユース可能にするという長期的な目標も掲げています。

もっと詳しく知りたい方へ
ネスレの活動は多くの実績を残し、毎年大きく前進しています。これまでの実績をまとめた動画を公開していますので、左の二次元コードを読み取るか、ネスレのウェブサイト（www.nestle.com/csv）にアクセスしてご覧ください。（英語サイト）

コミットメントの進捗状況

✓ 達成済　　… 期限延長または一部達成

個人と家族のために

さらに健康で幸せな生活を実現します

2030年に向けた長期的な目標は、5,000万人の子どもたちがさらに健康な生活を送れるように支援することです

さらにおいしく健康的な製品とサービスを提供する

- ✓ 特に妊娠中や出産後の女性と乳児や子ども向けに、さらに多くの栄養価の高い食品飲料製品を発売する
- … 糖類、食塩、飽和脂肪酸をさらに減らす
- ✓ ネスレの食品飲料製品に含まれる野菜、食物繊維の豊富な穀類、豆類、種実類を増やす
- ✓ ネスレの製品材料リストを簡潔にし、合成着色料を取り除く
- ✓ 微量栄養素の強化を通じて、低栄養の問題に取り組む

さらに健康な生活を奨励する

- ✓ パッケージ上、店頭とウェブサイトで栄養情報を表示し、説明する
- ✓ ネスレ製品のポーションガイダンス（一食分を知らせるさまざまな工夫）を提供する
- ✓ ネスレのマーケティング活動を通じて、健康に良い料理、食習慣、ライフスタイルを推進する
- ✓ 親や保護者、教員による子どもの健康的な行動育成を支援する
- ✓ 責任を持って母乳代替品を販売することに関する業界最高レベルの方針を継続的に実行することにより、母乳育児を支援する
- ✓ さらに健康な生活を送るために水を飲むように奨励する
- ✓ 健康な食環境を推進するために協力する

栄養知識を深め、共有、応用する

- ✓ 人生最初の1,000日から健康的な加齢までの栄養に関する知識を深め、共有する
- ✓ 健康を促進する製品、パーソナルニュートリション（個別化した栄養）、デジタルソリューションにつながる生物医科学を推進する

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

1 貧困をなくそう
2 飢餓をゼロに
13 気候変動に具体的な対策を
14 海の豊かさを守ろう

コミュニティのために

困難に負けない活力ある コミュニティを育成します

2030年に向けた長期的な目標は、ネスレの事業活動に直結する
コミュニティに暮らす3,000万人の生活を改善することです

農村開発と農村での生活を向上させる

- ✓ ネスレのサプライヤーである農業従事者の農場の経済状態を改善する
- ··· ネスレのサプライヤーである農業従事者の食料の入手可能性と食事の多様性を改善する
- ··· サプライチェーンにおける責任ある調達を実施し、動物愛護を推進する
- ✓ ネスレのコーヒー生豆サプライチェーンを継続的に改善する
- ··· カカオ農家とともに「ネスレ カカオプラン」を実施する

人権を尊重し推進する

- ··· 事業活動全体における人権への影響を評価し対処する
- ✓ ネスレの農業サプライチェーンにおいて労働者の生活を改善し、子どもを保護する
- ✓ 組織全体で誠実な企業文化を醸成する
- ✓ 社員とステークホルダーに実効性のある苦情処理の仕組みを提供する

公正な雇用と多様性を推進する

- ··· 事業全体において、世界規模の若年層向けの取り組み *Nestlé needs YOUth* を実施する
- ✓ 社員の男女比バランスを改善し、バリューチェーン全体で女性の地位を向上させる
- ✓ 健康的な職場と社員の健康増進を推奨する

地球のために

資源と環境を守ります

2030年に向けた長期的な目標は、ネスレの事業活動における
環境負荷ゼロを目指すことです

水を大切に使う

- ··· 事業全体における水の利用効率とサステナビリティの向上に取り組む
- ✓ 効果的な水の利用方針と管理を推奨する
- ··· サプライヤー、特に農業従事者と協力する
- ✓ 水の保全意識を高め、バリューチェーン全体での水と公衆衛生へのアクセスを改善する

気候変動に対応する

- ✓ 気候変動リーダーシップを発揮する
- ✓ 気候政策における透明性と積極的かつ長期的な取り組みを推進する

環境を守る

- ✓ ネスレの製品包装の環境パフォーマンスを改善する
- ✓ 食品ロスと廃棄物を削減する
- ✓ 有意義で正確な環境情報を提供し対話する
- ✓ 自然資本を保全する

2020年のハイライト

私たちがコミットメントを設定した時、それが高い目標であることを認識していました。
具体的な行動と数字に表れた実績は、2020年までに達成した各コミットメントの進捗の大きさを示しています。
ネスレのコミットメントは、社会をより良くする力となるための長期的な取り組みの一環です。世界を大きく変えるには、協力が必要だと私たちは考えています。そのため、ネスレは長期的なプラスの影響をもたらすことができるよう、各国政府や非政府組織（NGO）その他の機関と協力関係を築いています。
ネスレのあらゆる層の社員が、ますます多くのプロジェクト、活動、製品を通じてサステナビリティの取り組みに貢献しています。私たちは、この取り組みをさらに推進していきます。
取り組みや実績の詳細は、ネスレのウェブサイト（www.nestle.com/csv）で紹介しています。（英語サイト）

個人と家族のために

コミュニティのために

地球のために

牛乳たんぱく質アレルギーの乳児を支援する

母乳育児は乳児にとって最善であり、ネスレでも積極的に奨励し、支援しています。議論の余地はありません。しかし、母乳育児が不可能な場合は、高品質な乳児用栄養ソリューションを推奨しています。牛乳たんぱく質アレルギー（CMPA）の乳児向け調整粉乳はその一例です。CMPAは乳児期に特に多くみられる食品アレルギーの一つで、下痢、嘔吐、湿疹などの症状のほか、アナフィラキシーが起きる場合もあり、保護者にとってもつらい疾患です。
ネスレは2020年、CMPA専用の低アレルギー性調整粉乳 *Althéra HMO* を発売しました。CMPAのある乳児の症状を効果的に緩和し、健康な成長と発達を支援することが臨床的に実証された製品です。CMPAの乳児は免疫系が未成熟で、感染症のリスクが高い場合もあります。そのため *Althéra HMO* は、免疫系を刺激することで感染症のリスクを抑える作用のあるネスレのヒトミルクオリゴ糖を配合しています。

母乳育児ができない乳児のための専用栄養ソリューションを提供しています

パーソナルソリューションで微量栄養素不足を解決する

ネスレの*BEAR BRAND*は、栄養強化された食品飲料を通じて、手頃な価格で栄養を補う選択肢を提供しています。*BEAR BRAND*は、栄養情報を入手しやすくするために、新しいデジタル栄養評価ツールTibay Calculatorの提供を始めました。フィリピンの家庭で、子どもの食事の質と多様性を理解する上で役立っています。ネスレ リサーチの研究員がフィリピン国立食品栄養研究所と協力、6〜12歳の子どもの食事多様性スコアを計算し、不足している栄養を判定するアルゴリズムを開発しました。

消費者が十分な情報に基づいて栄養摂取に関する選択をできるように支援しています

家族の適切な食品選びを支援する

5,000万人の子どもたちがさらに健康な生活を送れるように支援するというネスレの長期的な目標において、栄養教育は重要な要素です。この目標を後押しするのが、ネスレの主要な取り組みである*Nestlé for Healthier Kids*(「ネスレ ヘルシーキッズ」)です。

2020年5月に、「ネスレ ヘルシーキッズ」の新しいプログラム*Cook Together*が始まりました。家庭のキッチンで栄養のある食事を一緒に作る時間を増やそうと呼びかける活動で、世界の約40のネスレ ブランドが参加、2億2,500万人以上の保護者が参加しました。レシピ本、コンテストや賞を用意した第二弾を11月に開始しました。

子どもたちに料理の栄養価を教えています

若者をバーチャル教育で支援する

新型コロナウイルス感染症の世界的流行の影響により失業率が上昇し、若者は最も大きな打撃を受けていますが、経済回復には若者の力こそが必要です。こうした状況を受けて、ネスレは世界規模の若年層向けの取り組み*Nestlé needs YOUth*を拡大し、複数の地域でバーチャル インターンシッププログラムを新たに開始しました。

このプログラムでは、LinkedIn、オンライン講座を運営するCoursera、Miriadaxが連携して開発したコースに参加することで、若者は雇用適性を高めることができます。これらのコースは、高等教育を終えて就職を目指す若者の支援を目的としています。参加者は世界の一流エキスパートによる指導も受けられます。

***Nestlé needs YOUth*のオンライン教育を拡大し、雇用適性の向上につなげています**

生活を維持できる収入を提供する

すべての農業従事者は生活を維持できる収入を得られなければならないと私たちは考えています。ネスレが新たに立ち上げた*Household Income Accelerator Project*（世帯収入向上プロジェクト）は、カカオ農家の変革を推進しています。

2020年8月に開始されたこのプロジェクトの試験運用計画には、1,000人の農業従事者が参加しています。適切な農業慣行を導入し社会や環境にプラスの成果を実現、緑陰樹（シェードツリー）を植樹、また児童労働対策を実施した参加者には、それぞれ奨励金を支給します。プロジェクトの進捗状況を厳しく検証し、経緯と結果を公表する予定です。

農業コミュニティの持続可能な未来に投資しています

農業従事者を紹介する

一杯の「ネスカフェ」を支えるのは、何千人もの献身的なコーヒー栽培者です。ネスレのコーヒー製品を支える人々の顔と名前を、消費者の皆さまに知っていただきたいとネスレは考えています。

そこで2020年に、コーヒー栽培者の素晴らしい仕事に敬意を表するマルチメディアキャンペーンを立ち上げ、パッケージ上の写真掲載、店頭用ポスター、看板広告、SNS投稿を通じて生産者の皆さんを紹介しました。コーヒーを楽しむお客さまに「ネスカフェ」の生産を支える農家を身近に感じていただきたいと企画したこのキャンペーンは、総計900万件を超えるインプレッションを獲得しました。

消費者とコーヒー栽培者をつないでいます

未来のために植物由来食品を開発する

ネスレは充実したラインアップの植物由来製品を揃えています。2020年8月には、植物由来のシーフード代替品にも幅を広げました。*Garden Gourmet*シリーズに新しく加わった植物由来のツナ代替食品は、乱獲の抑制や海洋生物多様性の保護に役立っています。6種類の植物由来原料を使用したこの製品は、たんぱく質と必須アミノ酸が豊富に含まれ、人工着色料や保存料は一切添加していません。ネスレは、たんぱく質化学に関する深い研究開発の専門知識と独自の技術を活用し、わずか9カ月でツナの代替食品を開発しました。

人にも地球にも配慮した植物由来たんぱく質製品を増やしていきます

未来のために パッケージを刷新する

2025年までにネスレ製品のパッケージを100パーセントリサイクル可能、あるいはリユース可能にし、未使用（バージン）プラスチックの使用を3分の1削減するという目標に向けて、研究と技術革新を推進しています。次の5項目に取り組みの重点を置いています。

- **パッケージサイズの縮小と未使用プラスチックの使用削減：**食品包装用の再生プラスチックへの転換を支援するClosed Loop Leadership Fundに3,000万米ドルを出資しました。
- **リユース可能、詰め替え可能システムの拡大：**フランスのLoopやチリのAlgramoと協力し、容器のリユースや詰め替えができるシステムを拡大しています。
- **代替素材の開発：**「マギー」ブイヨンキューブの包装など、可能なものについては紙の包装への移行を進めています。ピュリナ　ペットケアは、ウェットペットフード用のリサイクル可能な軟質プラスチックのパッケージを業界で初めて導入しました。
- **ごみのない未来の形成：**ネスレ フィリピンは2020年8月、生産した量と同じ量のプラスチックを回収する「プラスチックの中立性」を達成しました。インドネシアではProject STOPと協力し、海洋プラスチック汚染の問題に取り組んでいます。
- **新たな行動の推進：**ネスレは全従業員を対象に、持続可能なパッケージに関する研修プログラムを展開しています。「ネスカフェ ドルチェ グスト」ブランドは、ドイツとメキシコで消費者向けリサイクルキャンペーンを開始しました。

消費者が容器のリユースや詰め替えをしやすくなるように取り組んでいます

農業従事者に苗木を提供し、環境保護を促しています

森林の保全と再生に取り組む

ネスレのサプライチェーンにおける森林破壊の問題に取り組むことは、気候変動対策において不可欠です。例えば、ネスレはコートジボワール政府とNGOのEarthworm　Foundationと協力し、生物多様性のホットスポットであるカバレイ地域の指定保護区の森林の保全と再生に取り組んでいます。「ネスレ　カカオプラン」では、「カカオと森林イニシアチブ」の一環として250万スイスフランを投じ、保護区域内で栽培が行われないようにするため、サプライヤーをマッピングしました。また、農業従事者に森林樹木を配布し、農園の環境改善を促しています。

この取り組みが成功すれば、他の森林でも採用できるモデルになると期待されています。

ステークホルダーとの関わり

ステークホルダーとの関わり

ネスレのグローバルなステークホルダーネットワークには、投資家、国際機関、各国政府、非政府組織（NGO）、市民社会組織（CSO）、学界、地域コミュニティ、サプライヤー、消費者、顧客、そしてネスレの従業員などが含まれます。2020年は直接顔を合わせることは難しくなりましたが、ステークホルダーとの対話を継続的に行いました。

例えば、3月にはカカオ農家に生活を維持できる収入を確保してもらう方策を考えるオンラインワークショップを開催し、6月にはEUグリーンウィークに合わせ、森林破壊ゼロのサプライチェーンを実現するための衛星技術の活用に関するウェビナーをEarthworm Foundationと共同で開催しました。また、ステークホルダーと協力して、消費者が十分に情報を得た上で製品を選択できるようにするためのパッケージ上のコミュニケーションについて理解を深めました。

6月には、2050年までに企業が排出量実質ゼロ達成を約束する国連のキャンペーン「Race to Zero」が発表され、ネスレCEOのマーク・シュナイダーがメイン講演者として参加しました。9月の気候ウィークには、森林破壊対策と森林再生の推進をテーマとした政府、企業、市民社会の代表者とのディスカッションにネスレの経営陣が参加しました。12月には、『ネスレ ネットゼロ（排出量実質ゼロ） ロードマップ』について話し合うステークホルダーとの会合を2度開催しました。

共通価値の創造（CSV）諮問委員会は、ネスレの共通価値の創造の取り組みを毎年積極的に指導します。

CSV諮問委員会は、企業責任、戦略、サステナビリティから栄養、水資源、農村開発まで、幅広い分野の専門家から構成されています。委員会から助言を受け、活動の進捗を評価してもらうことで、私たちは重要な社会問題に関する知識と理解を深めることができます。2020年は、CSV諮問委員会とネスレのCEOおよびエグゼクティブボードメンバーとの会合で、2050年までに排出量実質ゼロを達成するというネスレの長期的な目標を含め、サステナビリティ関連の課題について話し合いました。

重要課題評価

ステークホルダーの優先課題は絶えず変化しており、私たちはその期待に応えられるように進化していかなければなりません。ネスレは正式な重要課題評価を2年ごとに実施し、この評価をもとに、事業とステークホルダーにとって最も重要な課題を特定し、優先順位を設定します。

2020年には、重要課題に関するプロセスをさらに拡充しました。重要課題評価をネスレのエンタープライズ リスク マネジメントのプロセスに完全に統合し、より広範なサステナビリティの課題が全社的な検討対象であるリスクと機会に含まれるようにしました。

この評価は、ネスレのパブリックアフェアーズ部門とグループリスク管理部門が社内では共同主導していますが、完全な機密性と公平性を確保するため、独立第三者機関により実施されました。調査と計画立案の段階を経た後、社内外の重要ステークホルダー72名と面談し、それぞれが考える重要度に応じて課題を評価してもらいました。

今後、この評価の結果に基づき、ネスレの活動を調整していきます。ネスレの事業にとって特に重要と特定された課題に取り組み、地球の健全性を高め、社会的進歩を推進し、持続可能で健全な食料システムを支援するための長期的な目標を策定します。リスクに関する詳細については、『ネスレ アニュアルレビュー』60ページに掲載しています。

主要指標のパフォーマンス

FTSE4Good	FTSE4Good指標において堅調な評価を維持し、2020年の環境・社会・ガバナンス（ESG）の総合評価で食品業界の平均を大きく上回る5点満点中4.9点を獲得。
V.E	堅固なESGスコアを達成し、欧州食品部門の第1位を獲得。
MSCI ESG RATINGS AA（CCC B BB BBB A AA AAA）	2020年、MSCI ESGリサーチによるESG各面のパフォーマンスを評価する格付けにおいて「AA」を獲得。
CDP DRIVING SUSTAINABLE ECONOMIES	気候変動対策と水資源保護の分野でトップクラスの評価を維持。

ネスレ重要課題マトリックス

ステークホルダーに対する重要度	中程度	重大	きわめて重大
きわめて重大		人権 責任ある調達	気候と脱炭素化
重大	生物多様性	地政学的・経済的状況 小売業者との関係 ウォーター・スチュワードシップ（ボトルウォーターを含む） 製品規制と課税 コミュニティとの関係 ビジネス倫理 責任あるマーケティングとブランドコミュニケーション	革新的ビジネスモデル デジタルと技術 競争力と生産性 製品パッケージとプラスチック 消費者行動の変化 製品ポートフォリオの栄養価 製品の品質と安全性
中程度	動物愛護	サイバーセキュリティ 買収と投資 ダイバーシティ&インクルージョン（多様性を受入れ、活かす） 廃棄物ゼロ 入手しやすい栄養	人材の獲得と定着化

ネスレの成功に対する影響：社内ステークホルダー

- 個人と家族
- コミュニティ
- 地球
- 長期的な価値の最大化